

瓦葺中学校だより

教育目標

あかるく 心豊かな生徒
たくましく 進んで汗を流す生徒
まじめに 学習に取り組む生徒

戦士ローガン: かけがえのない学校生活を「価値ある学校生活へ」

第7号 令和5年11月1日
上尾市立瓦葺中学校 校長 加藤 俊一
〒362-0022 上尾市瓦葺 163
TEL048-722-2101 FAX048-721-9809
<https://www.city.ageo.lg.jp/site/kawarabuki-juniorhighschool/>



ゆう もう か かん 勇 猛 果 敢

校長 加藤 俊一

将棋の藤井聡太さんが、史上初の「八冠独占」を達成しました。史上最少の14歳2ヵ月でプロとなり、史上5人目となる「中学生棋士」となってから、数々のタイトルと史上最年少記録という偉業を達成してきましたが、ついに名人・竜王・王位・叡王・棋王・王将・棋聖・王座のすべてのタイトルをプロ入りわずか7年で保持することとなりました。

今回対決した永瀬拓矢さんは、藤井さんがプロになったところに、永瀬さんが声をかけ、二人だけの将棋の研究会を立ち上げて、お互いに一日10時間以上も将棋を指しながら、勉強するほどの仲だそうです。まさにお互い「切磋琢磨（せつさたくま）」した良きライバルです。「切磋琢磨」とは、「学問や修養によって自分を磨き上げること」です。

現在、将棋の世界でもAIの存在は欠かせません。棋士たちは、AIとの対戦をしながら、「次の一手をどうするか」「先の先の先について」「どうすれば自分が有利になるか」など日々研究を重ねて、常に新しい戦略を練っています。一方、将棋AIについても、今までの膨大な蓄積データを活用し、次の一手が最善の手となるよう開発者は進化させ、今ではプロ棋士でもAIに勝つことは難しいとされています。また、AIは将棋の勝敗について、「現在どちらが有利に進めているか」「勝利までの手順や可能性」等をリアルタイムで教えてくれます。AIの導き出す次の一手は、勝利への可能性を広げる非常に参考となる手であり、観戦している人にも楽しめるものになっています。

今回の王座戦に勝利した藤井さんに対して、「AIを超えた」という声がメディアからあがっています。その理由は、第4局の終盤まで永瀬さんが有利に展開していた局面において、AIは永瀬さんが99%有利という状況を示していました。永瀬さんがあと一手、AIが導くところへ指せば勝利が確定される場面でしたが、普段では考えられないような手を指したのです。その結果、その一手で形成が逆転し、藤井さんは1%から84%まで有利となる状況になり勝利しました。

解説によると、藤井さんの攻めは、AIでは指さないような、発想豊かな手であり、永瀬さんは自身の経験上想定できない状況に追い込まれ、自分の考えていた戦い方を修正しながら、迷いながら戦っていたとのこと。AIならば、絶対に指さない手であっても、相手が人間であるからこそ、その未知の手に惑わされ、悩み、時間の中で最善を考えるうちにミスが出てしまうのではないかと解説にありました。藤井さんは、AIを活用して将棋の研究をしながら、AIに勝つことではなく、人間に勝つことを意識して、自身の腕を磨き、自分の信じた一手を指して勝利をつかんだと思いました。そして、その攻めはまさに「勇猛果敢」であると感じました。「勇猛果敢」とは、「勇ましくて強く、決断力に富むこと」です。

藤井さんも序盤から相手に攻められ、守りに集中しながら、何とか打開策を考えて、一手一手指していたと思います。一つのミスも許されない状況の中で、勇気を持って相手を上回る発想の手を指せるということは、本当に精神力が強いと言えます。

私は藤井の将棋に対する考え方から、人の可能性について考えさせられました。今後、予測困難な世界に生きる私たちは、AI等に判断を頼ることもあるかもしれませんが、自分の考えや発想がAIを超え、より良い答えを導くこともあると思います。

瓦葺中生の皆さんにも、藤井さんと同じような力があると信じています。日々の生活の中で、自分の考えや発想を大事にして、どんな困難なことにも乗り越えられる強さを身に付けてほしいと願っています。そして、藤井さんのように一つのことに、とことん集中して夢中になれる大切なものが見つかることを願っています。

11月・12月の行事予定（11月完全下校17:00）

日付	11月の行事	部活	日付	12月の行事	部活
1 水	彩の国教育週間 聖学院大学実務実習	○	1 金	期末テスト2日目（1、2年） ①②③④火⑥	×
2 木	合唱祭 聖学院大学実務実習	×	2 土		○
3 金	文化の日	×	3 日		○
4 土		○	4 月		○
5 日	開校記念日（学校閉庁日）	×	5 火	3年三者面談	○
6 月	後期第1回専門委員会	×	6 水	2年校外学習	×
7 火	①②③④ 全校三者面談	○	7 木	わかくさ学級小中交流会	○
8 水	①②⑤⑥ 全校三者面談	○	8 金		○
9 木	①②③④ 上尾市教育委員会委嘱研究発表会	×	9 土	ぐるっとくん地域めぐり作戦	○
10 金	①②④⑥ 全校三者面談	○	10 日		○
11 土		○	11 月	後期第2回専門委員会	×
12 日		○	12 火	①③④⑤⑥ 3年三者面談 5h1年スキー体験教室保護者説明会	○
13 月		○	13 水	①③④⑤⑥	○
14 火	県民の日（学校閉庁日）	×	14 木	①②④⑤⑥	○
15 水	①④⑤⑥ 全校三者面談 わかくさ学級東側5校交流会（上平中）	○	15 金	①②④⑤⑥ 5h世界のトピウ事業（3年）	○
16 木	①②⑤⑥ 全校三者面談	○	16 土		○
17 金	③④⑤⑥ 全校三者面談	○	17 日		○
18 土		○	18 月	木曜日課①②③④⑤	×
19 日		○	19 火	①②③④ 給食最終日	○
20 月	木曜日課①②③④⑤⑥	○	20 水	月曜日課①③④	○
21 火	上尾市小中学校音楽祭	○	21 木	学年集会 大掃除	○
22 水	②③⑤①④⑥ 期末テスト1日目（3年）	○	22 金	終業式 ふれあいデー 成績及び諸活動に関する記録通知書配布（3年）	×
23 木	勤労感謝の日 部活動停止期間	×	23 土		○
24 金	期末テスト2日目（3年） ふれあいデー 6h起業家講座（3年）	×	24 日		○
25 土		×	25 月	成績及び諸活動に関する記録通知書訂正（3年）	○
26 日		×	26 火		○
27 月		×	27 水		○
28 火	生徒会本部役員・専門委員会委員長任命式	×	28 木	学校閉庁日	×
29 水	第3回学校運営協議会	×	29 金	学校閉庁日	×
30 木	期末テスト1日目（1、2年） ①②③④	×	30 土	学校閉庁日	×
			31 日	学校閉庁日	×

※ 11月中の三者面談日は、完全下校が16:30となります。

新人体育大会 結果

9月27日（水）から、新人体育大会上尾市予選会が行われました。どの部活動も最後まで勝利を目指し競技に集中していました。結果は以下の通りです。 (敬称略)

野球	第3位 2回戦 VS 上平中 6-3 準決勝 VS 原市 4-6
男子ソフトテニス	<団体> 1回戦 VS 南中 0-3
女子ソフトテニス	<団体> 第3位 1回戦 VS 太平中 2-1 2回戦 VS 西中 3-0 準決勝 VS 大石中 0-3
卓球	<団体> 第3位 2回戦 VS 上尾中 3-2 準決勝 VS 上平中 2-3 <個人シングルス> 近藤 心和 第3位 <ダブルス> 第1位⇒ 県大会出場 、第3位
男子バスケットボール	第3位 2回戦 VS 太平中 64-56 準決勝 VS 大石中 43-72
女子バスケットボール	1回戦 VS 大谷中 55-35 2回戦 VS 上平中 47-69
バドミントン	<団体> 1回戦 VS 原市中 0-3
バレーボール	1回戦 VS 西中 2-0 2回戦 VS 上尾中 0-2
陸上競技	男子1年100m 第1位 ⇒ 県大会出場 男子400m 第1位 ⇒ 県大会出場 男子800m 第1位 ⇒ 県大会出場 男子走幅跳 第3位 女子100mH 第1位 ⇒ 県大会出場 女子走幅跳 第2位 ⇒ 県大会出場
その他の競技	水泳 【県大会】 男子100m自由形 第1位 女子200m個人メドレー 第3位 女子200m背泳ぎ 第7位 【上尾市予選会】 女子総合優勝 男子100mバタフライ (大会新記録)、男子200m自由形 第1位 女子200m平泳ぎ、女子100mバタフライ 第1位 女子200m背泳ぎ、女子100m平泳ぎ 第1位

※上尾市中学校駅伝大会 男子4位 女子10位

11月は「いじめ撲滅強調月間」です

いじめられた子供には心身に深刻な被害が生じることがあります。いじめは重大な人権侵害であり、決して許されることではありません。埼玉県では、11月を「いじめ撲滅強調月間」に制定し、いじめ問題の根絶に取り組んでいます。いじめを受けていたり、いじめに気が付いたりしたら一人で悩まず相談・通報してください。

相談窓口等

○よい子の電話教育相談（埼玉県立総合教育センター） 【相談内容 いじめ、不登校、学校生活】 18歳以下の子供用（無料）#7300 又は 0120-86-3192 保護者用 048-556-0874 （毎日24時間） Eメール相談 soudan@spec.ed.jp ※Eメール相談の受信確認及び返信は、平日9時から17時の時間帯に行っています。
○いじめ通報窓口（埼玉県教育委員会） 【通報内容 いじめに関すること】 https://www.pref.saitama.lg.jp/f2209/ijime-soudan-form.html ※この窓口は「いじめ」についての情報提供を受けることが目的であり、相談に対する返信は行いません。 ※通報された情報は学校に提供します。学校はあなたが送信したことがわからないように調査・対応します。
○埼玉県警察少年サポートセンター 【相談内容 非行やいじめ、犯罪被害等の少年問題に関する心理面の相談】 （月～金/祝日・年末年始を除く 8時30分～17時15分） 048-861-1152 「少年用・ヤングテレホンコーナー」 048-865-4152 「保護者等用」 ※面接相談は要予約
○子どもスマイルネット 【相談内容 どんなことでも】 （毎日/祝日・年末年始を除く 10時30分～18時00分） 048-822-7007
○社会福祉法人 埼玉いのちの電話 【相談内容 どんなことでも】 048-645-4343（365日24時間） 0120-783-556 フリーダイヤル（毎月10日8時～翌日8時・10日を除く毎日16時～21時） 0570-783-556 ナビダイヤル（毎日10時～22時） インターネット相談 埼玉いのちの電話ホームページからアクセス
○特定非営利活動法人 さいたまチャイルドライン 【相談内容 どんなことでも】 （毎日16時～21時）18歳以下の子供専用（無料） 電話 0120-99-7777 オンラインチャット https://childline.or.jp/
○埼玉県こころの電話（埼玉県立精神保健福祉センター） 【相談内容 心の健康の相談】 （平日/土・日・祝日・年末年始を除く 9時～17時） 048-723-1447
○子どもの人権110番（さいたま地方法務局） 【相談内容 子どもの人権】 （平日/祝日・年末年始を除く 8時30分～17時15分） （無料）0120-007-110 ◇子どもの人権SOS-eメール https://www.jinken.go.jp/kodomo